

田村市立船引南中学校 実践研究テーマ「主体的に行動し、対話と協働を通して 社会と向き合いながら自己実現を図る生徒の育成」

1年生の取組① 学級活動(1)

- 議題 「文化祭の学年発表を考えよう」
- 本時のねらい これまでの体験等を通し、文化祭の学年発表の内容を決めることができる。
- 本時の概要 テーマ班ごとに分かれ、アイデアを出し合う。模造紙を使って自由に記述し、リーダーを中心に内容を決定する。

○子どもの姿

話し合う環境づくりのため、机を片付け、床に広げた模造紙に議題に対する考えを自由に記述し、積極的な交流を図った。自治的な活動の積み重ねが、学級や学校のためにできることをしたいと思う姿につながっていった。



1年生の取組② 学級活動(1)

- 議題 「全校生と仲良くなろう大作戦」
- 本時のねらい 全校生徒が、全校集会が楽しみになるような企画内容を決めることができる。
 - ・合意形成の手順や活動の方法を身につける。
 - ・学校の生活をよりよくするための課題を見だし、多様な意見を生かして合意形成を図ろうとする。
- 本時の概要 学級役員を中心に、全校集会の1年生企画について話し合う。

○子どもの姿

提案理由を共有するために、事前に学級役員がポスターを作成した。これにより、自信をもって話し合いを進めることができた。各グループを回りアドバイスする姿から、学級役員の大きな成長を感じた。



○実践活動の実際

1年生全員で役割を分担し、ジャスチャーゲーム、謎解き等の企画運営を行った。



○子どもの感想

- ・あまり話をしたこともない人と仲良くできて楽しかった。
- ・話し合いでは学級役員がよくまとめてくれていた。それを理解して、受け入れてくれたクラス全員が頑張っていた。クラス全員に感謝している。
- ・自分の意見をきちんと言えた。役割もきちんできた。
- ・学級委員長に頼りすぎてしまった。
- ・時間通りにいかないことや、急なトラブルにすぐ対処できなかった。
- ・もう少し準備をしすぎなくらいの方がいいと思った。

○教師が見取った成長した子どもの姿とこれから

今まで2・3年生の後ろをついていくことが多かった1年生だったが、今回、自分たちで2・3年生を楽しませたいと、一人一人が懸命に活動する様子が見られた。教師や2・3年生に頼るのではなく、自分たちで企画を成功させようと協力しながら運営していた。教師は子どもに「任せる」ことの効果を実感できた。

この活動を通して、学校全体の課題を考えるきっかけになった。その課題を解決するという目標に向かって、1学年生徒全員が最初から企画や役割分担等を考える中で、良好な人間関係が形成されていった。また、話し合いにおける意見の合意形成は課題であり、単純な多数決ではなく、少数意見をいかに取り入れよりよいものを作っていくか、教師自身も考えていかななくてはならない。

田村市立船引南中学校 実践研究テーマ「主体的に行動し、対話と協働を通して 社会と向き合いながら自己実現を図る生徒の育成」

2年生の取組① 学級活動(1)

- 議題 「全校集会を成功させよう」
- 本時のねらい 一人一人が全校集会を成功させようという意識をもち、改善点について話し合う。
- 本時の概要 学級役員を中心に、全校集会で行う2年生企画について話し合いを行う。各係の準備やリハーサルを行い、さらに改善点を話し合う。

○子どもの姿
係ごとに準備を行い、他の係とも連携を図った。リハーサルを行い、改善点を話し合った。



○実践活動の実際
他学年との交流を図るクイズ大会を行った。これまで、全校生を動かす経験はなく、課題も残ったが、「もっとこうしたい」「こんなことをしてみたい」など、次の活動への原動力となった。



2年生の取組② 学級活動(1)

- 議題 「新年のスタートにふさわしい企画にしよう大作戦」
- 本時のねらい 全校生が新年のスタートを笑顔で明るくスタートできるような全校集会の企画を考え、仲間と協力して、積極的に意見を出し合いながら活動することができる。
- 本時の概要 前回の反省から、生徒主体で議題に沿った企画や役割分担を決める。多様な意見を生かし、合意形成を図る。

○子どもの姿
企画内容や役割分担について話し合った。友達の考えを大切にして、折衷案を提案する姿があった。「いいね」と賛同する言葉が自然と出ており、本学級のよさを感じた時間となった。



○実践活動の実際
音楽で明るい雰囲気を作ろうと、全校生縦割り班によるイントロクイズを行った。司会進行は、「前回の反省を生かしたい」と1回目と同じ生徒が立候補し務めた。景品係の生徒は、1回目のときに集計に時間がかかったことを課題としてとらえ改善策を考え、2回目は円滑に結果発表することができた。よりよくしたいという生徒一人一人の思いが主体的な行動に繋がっていた。



○研究のまとめ

- ・ 生徒主体の話し合い活動を重ねていく中で、受動的だった生徒が自分たちで学校生活をよりよくしていこうとアイデアを出し合い、自分たちで活動しようとする意欲が高まってきた。
- ・ 「計画→話し合い→実践→振り返り」を行い、自分たちでさらによりよいものを作り上げようという意欲が向上した。
- ・ 各教科の授業でも、話し合い活動に積極的に参加し、教師の問いかけに反応したりしようとする姿勢が高まってきた。
- ・ 教師と学級役員で事前に話し合っ、準備を行い、話し合いの目的を学級全体で理解することが必要であると考えた。
- ・ 生徒自身の課題や学級の課題などについて、自分たちの力で解決していく働きかけについて工夫していきたい。

令和4年度 キャリア教育全体計画

田村市立船引南中学校

社会的背景	教育目標	生徒の実態
①社会環境の変化 ②若者自身の資質等をめぐる課題 ③子どもたちの成長・発達上の課題 ④高学歴社会における進路未決定傾向	【夢・愛・自立】 Dreams come true! 夢に向かって真剣に努力すれば、必ず夢は実現する 生徒を中心に据えて生徒の夢が育つ楽しい学校	・学校行事や部活動に積極的に取り組む。 ・自分の考えや気持ちを相手に伝えようとする力が不足している。 ・自主的に行動する意識が希薄である。

キャリア教育の目標
生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度の育成を通してキャリア発達を促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の特性・能力についてよく理解し、主体的に行動することができる。 ・集団の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割の関係を見だし、自分らしい生き方を考える。 ・一人一人の進路を保障するために、学力の向上を図る。

育成すべき能力や態度（基礎的・汎用的能力）			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

指導の基本方針および各学年の目標と主な活動等		
<指導の基本方針> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生きる意欲を引き出す。 ・生徒の自分で決める力を育む。 ・自分で一歩を踏み出す生徒たちを評価し、応援する。 ・頼りにする、任せる、見守る、ほめる、励ます。 		
第1学年	第2学年	第3学年
○学級集団の中で、自分が果たす役割について考え、対話と協働によってよりよい集団生活を実現しようとする。 ○福祉体験を通して、自分と社会との関わりについて考え、それを日常生活に生かす。 ○自己の長所や個性に気づき、将来について考えることができる。 ○将来について夢や希望を持ち、よりよい自分になるための努力ができる。	○学級集団や生徒会活動等の学校生活の中で、自分が果たす役割について考え、対話と協働によってよりよい集団生活を実現しようとする。 ○進路に関する情報を正しく理解し、適性を見だし、長所を伸ばしていくことができる。 ○職場体験等の活動を通し、自分の特性と結びつけて将来の職業、進路先を考えることができる。 ○将来の目標に向かって、進路の計画を立てることができる。	○学級集団や生徒会活動等の学校生活の中で、自分が果たす役割について考え、リーダーシップを発揮し、対話と協働によってよりよい集団生活を実現しようとする。 ○自分の特性と、進路に関する情報を正しく理解し、自分の納得のいく進路を選択することができる。 ○自ら選択した進路のために最大限の努力ができる。 ○自らの生き方についてのビジョンが描ける。
主な活動等	主な活動等	主な活動等
・学級組織と自分の役割について考える ・生徒会、学級会の活動について考える ・働くことについて考える ・高校説明会 ・進路計画を立てる ・キャリア・パスポートの活用	・高校説明会 ・職業調べ活動 ・職場体験活動(1日) ・人との関わり方を学ぼう ・将来の夢・生き方を考える ・キャリア・パスポートの活用	・高校説明会 ・高校体験入学 ・三者面談 ・進路の選択 ・自己を見つめる ・キャリア・パスポートの活用

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
①授業スタンダードをもとに、生徒の主体的、対話的で深い学びの実現を図る。 ②学び方や考え方を身に付け、問題解決的や探究的学習を実施するとともに、家庭学習の充実を図る。 ③自己の能力、適性、興味についての理解を進める。	①人間尊重の精神を培い、自立し、健全な自尊感情を持ち、社会の一員としてその発展に貢献する基盤となる道徳性を養う。 ②学校・家庭・地域社会における生活の中で道徳的実践力を高め、道徳的価値に基づいた人間の生き方について考えさせる。 ③自分の考えを基に表現する機会を通して、異なる意見に触れることで考えを深め、自らの成長を実感させる。	①学級における生活上の諸問題を取り上げ、生徒一人一人や学級集団としての問題解決能力を高める。 ②生徒会や学級組織の仕事の分担を通して集団への帰属意識や責任感を高め、集団生活の向上を図る。 ③自他の理解と尊重の学習を通して、適切なコミュニケーションの取り方と良好な人間関係の確立を図る。	①自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 ②学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 ③学校における全教育活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活に生かし、総合的に働くようにする。